

タイ語・タイ文化研修コース 実施報告

2020 年度標記事業 Joint Education Program 及び財政支援を受ける授業科目・課外授業として承認された「タイ語・タイ文化研修コース」の実施内容について、下記の通りにご報告致します。

【記】

1. 実施概要

- 実施目的 : タイ語能力の向上、タイ国・タイ文化への理解促進、タイ人大学生との交流促進
研修期間 : 2020 年 2 月 1 日(土)~2 月 19 日(水)
参加人数 : 18 名(タイ科 1 年生)
協力機関 : タイ国立シーナカリンウィロート大学(MSW)人文学部言語学科
実施場所 : MSW 内教室、MSW 学生自宅、サムットソクラー、ファヒン 等

2. 実施プログラム

<T1~7>=タンデム学習

日程	スケジュール
2/1(土)	タイ入国
2/2(日)	研修コース準備
2/3(月)	09:00-10:30 <T1> 日タイの違いによる注意事項・留意点 10:45-12:15 <T1> 日タイの違いによる注意事項・留意点 13:30-14:30 発音修正(ピムパーポーン先生)
2/4(火)	09:00-10:30 招待・依頼・許可の表現 10:45-12:15 招待・依頼・許可の表現 13:30-14:30 発音修正 14:30-16:20 <T2> 日本とタイの CM
2/5(水)	09:00-10:30 読み書き 10:45-12:15 読み書き 13:30-14:30 発音修正
2/6(木)	09:00-10:30 <T3> 日タイ観光案内 10:45-12:15 <T3> 日タイ観光案内 13:30-14:30 発音修正
2/7(金)	09:00-10:30 単語と慣用句 10:45-12:15 単語と慣用句 13:30-14:30 発音修正
2/8(土)-9(日)	タイの一般家庭(MSW 学生宅)でのホームステイ(2/7 から移動)

2/10(月)	休日(タイの祝日)
2/11(火)	09:00-10:30 読み書き 10:45-12:15 読み書き 13:30-14:30 発音修正 14:30-16:20 <T4> 広告制作
2/12(水)	09:00-10:30 料理と飲み物(実習) 10:45-13:45 料理と飲み物(実習) 13:30-14:30 発音修正
2/13(木)	09:00-10:30 伝統行事と服装(実習) 10:45-13:45 伝統行事と服装(実習) 13:45-14:45 発音修正
2/14(金)-16(日)	研修旅行@サムットソクラーム、フアヒン (出発は 2/13)
2/17(月)	09:00-10:45 自由時間 10:45-14:45 <T5> ミニ調査
2/18(火)	08:00-12:00 <T6> 紙芝居 13:30-14:30 <T5> ミニ調査に関する発表 20:00-22:00 送別会
2/19(水)	タイ出国

【タンデム学習について】

本コースでは、TUFS の学生が MSW 日本語科 2~4 年生とともに、文化の差異や観光といった様々なテーマを通し、相互文化理解と言語能力の向上を図る。日本人(TUFS)学生とタイ人(MSW)学生がペアになり、互いの得意な言語や文化を教え合いながら、各学習者自身が互いの学習のために協力し合いながら、相互文化理解と言語能力の向上を図ることを目的として企画・実施。今回のコースでは、6プログラムを実施。

<T1> 日タイの違いによる注意事項・留意点(2/3)

- ・ MSW 日本語科が参加し、タイと日本の「して良いこと」、及び「しない方が良いこと」を双方で紹介。
- ・ 特に興味深い内容について、意見交換。



<T2> 日本とタイの CM(2/4)

- ・ 日本とタイの CM を比較し、そこから見える文化や社会の違いを発見することを目的とし、TUFS+MSW 学生混合の 5 グループに分かれ、予めテーマに沿って準備してきた CM を紹介。(食べ物、飲み物、化粧品、電化製品、ヘルスケア用品)

- ・ お互いに紹介した CM から見える文化や社会、習慣などの違いについて、意見交換を行いながら分析し、グループ毎に発表を実施。



タイと日本のテレビCMを比較して、比較してみよう!	日本CM	タイCM
商品名	日産	Toyota (Toyota)
ジャンル	自動車	自動車
CMのスタイル	自然環境の風景を背景に車	自然環境の風景を背景に車
音楽 (曲名)	なし	なし
ターゲットとしている性別	男性	男性
ターゲット年齢の層	30代~40代	30代~40代
CMの印象	自然環境の風景を背景に車を走る様子	自然環境の風景を背景に車を走る様子
CMのメッセージ	自然環境の風景を背景に車を走る様子	自然環境の風景を背景に車を走る様子
CMの印象	自然環境の風景を背景に車を走る様子	自然環境の風景を背景に車を走る様子
CMの印象	自然環境の風景を背景に車を走る様子	自然環境の風景を背景に車を走る様子

<T3> 日タイ観光案内(2/6)

- ・ TUFs 学生と MSW 学生がそれぞれグループを作り、学生の故郷を中心に様々な土地を各学生の学習言語で紹介。(例) 山形、香川、沖縄、パッターニー、ウボン、ナコーンサワン など
- ・ 発表後、発表言語にて意見交換。



<T4> 広告制作(2/11)

- ・ タイと日本の広告表現の特徴を観察。
- ・ TUFs 学生と MSW 学生の混合グループとなり、任意で物品を選定し、日本語、及びタイ語のそれぞれで、その物品を PR する発表を実施。



<T5> ミニ調査(2/17, 18)

- ・ TUFs 学生と MSW 学生が 2 人 1 組となって、街中で気になるものを調査。
- ・ TUFs 学生が気になったものを MSW 学生が日本語で教える。
- ・ 各自で撮影した写真を活用し、発表資料を製作し、TUFs 学生が発表。

(例) バイクタクシー、野良犬、食文化、バレンタイン など



<T6>紙芝居(2/18)

- ・ 日タイの昔話の紙芝居をそれぞれ各グループが事前に作成し、授業当日に発表。
- ・ 日タイの昔話から見出された教訓等から、日タイの文化的・言語的特徴について意見交換。
- ・ 授業後、日タイ語併記の本を製作し、コース終了後も台詞の編集等を通し、学生間でコミュニケーション継続。



3. 総括

- ・ 参加者より「言語学習だけでなく、異文化学習やタイ人との意見交換、タイ人の理解などがバランスが良く構成されている」という声もある通り、本コースでの狙いは達成。
- ・ 2018年より実施している日タイ学生でのタンデム学習については回数を重ねる毎に、前回の反省を踏まえ、事前準備、学生の役割等で改善が加えられ、語学学習、及び人的交流という点でより効果的になっている。
- ・ 但し、TUFS 学生が1年生であることに対し、MSW 学生は2~4年生であり、学習言語能力の差がかねてよりの課題であり、TUFS 学生がよりタイ語を使用できるよう工夫が見られたもの、引き続き改善が必要。
- ・ また、TUFS 学生が18名であるのに対し、MSW 生が50名となったプログラムも一部あり、グループ分けなどでTUFS 学生1名に対し、その他の複数名が全てMSW 生となるなど、タンデムプログラム毎の人数バランスの精査も求められる。

以上